

「生きるために食べ物をつくる」いちばんシンプルな仕事



お百姓さんになりたい

監督・撮影・編集：原村政樹 語り：小林綾子 音楽：鈴木光男
後援：埼玉県三芳町／農福連携自然栽培パーティー全国協議会／木更津社会館保育園
配給：きろくびと 2019年/日本/カラー/104分 kiroku-bito.com/ohyakusho-san



『天に栄える村』『無音の叫び声』『武蔵野』

原村政樹監督作品



野菜も人も
不揃いが自然。
みんなが幸せになる
自然栽培ダイアリー

自然の声に耳を傾けながら、いのちをつなぐ。 明石農園の春・夏・秋・冬。



28ヘクタールの畑で60種類もの野菜を育てている、埼玉県三芳町の明石農園。明石誠一さんは28歳の時に東京から移り住み、新規就農した。有機農法からスタートして、現在は農薬や除草剤、肥料さえも使わない「自然栽培」に取り組んでいる。ここでは、野菜同士が互いを育てる肥やしになり、雑草は3年を経て、有機物に富んだ堆肥になる。収穫後は、種を自家採種していのちをつなぐ。春夏秋冬、地道な農の営みは、お百姓さんになりたい人への実践的ガイドとなり、自分の口に入るもの、に関心を持つ人に、心豊かに暮らすためのヒントを提示する。

「想像力」を磨く。
自然は、制圧するものではなく、共存するもの。
映画に登場する人々は、みな心の底からの笑顔を見せる。
——村上龍(作家)

自然と共に生きること。
違いを認め、受け入れること。
生きていく上で本当に大切なことを再確認できました。
——小林綾子(女優)

自然栽培とは？

肥料や農薬に頼らず、植物や土が本来持っている力を最大限に生かした農業方式のこと。自然に学び、作物の声に耳を傾けながら、土づくりに何よりの時間をかけ、タネを自家採種して、次代に繋げていく持続可能な農法。



不揃いでもいい。失敗してもいい。 みんな、ここにいていいんだ。



明石農園には、パティシエやカメラマンなど、様々な経歴を持つ人たちが研修生としてやってくる。農家として独立する人も出てきた。ノウフク(農業福祉連携)にも取り組み、障がいを持つ人たちも、得意分野を生かし、それぞれのペースで働いている。「都会の子に土に触れてほしい」と、農業体験イベントも開催する。20代でも60代でも、障がいがあってもなくても、虫も植物も、土の上ではみんな同じいのち。土がつなぐ「いのちの営み」に、なぜみんな引き寄せられるのか。競争社会から共生社会へとシフトする、新しい幸せの物差しが「農」にある。



お百姓さんになりたい

kiroku-bito.com/ohyakusho-san

監督・撮影・編集：原村政樹 語り：小林綾子 音楽：鈴木光男 映像技術：荒山和之・浅野北斗
整音：丸山 晃・堀口 誠 後援：埼玉県三芳町/農福連携自然栽培パーティー全国協議会/木更津社会館保育園
スチール：柿内未央 イラスト：ミキサキコ 宣伝美術：森泉 宏 配給：きろくびと 2019年/日本/カラー/104分

8月24日(土)より、いよいよロードショー!!

連日10:30より

★関係者・ゲストを招いてアフタートークも連日開催
全国共通特別鑑賞券1,300円発売中
当日：一般1,700円 大学・専門・シニア(60歳以上)1,200円
高校生・中学生・障がい者1,000円

公開初日(8/24)
2日目(8/25)は
明石農園の
野菜特売会あり!

ポレポレ東中野

TEL 03 3371 0088
www.mmjp.or.jp/pole2/
JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

